

第2回串間市入札等監視委員会について

1. 会議日時 令和7年1月27日（月）午後1時30分～午後3時30分

2. 会議場所 宮崎県自治会館（宮崎市宮田町1番8号）

3. 出席者 【委員】 中澤隆雄委員長（宮崎大学名誉教授）

落合雅子委員（税理士）

木下博義委員（公認会計士）

永井崇敦委員（弁護士）

【串間市】 総務課長、財務課長ほか関係職員

4. 会次第 （1）開 会

（2）委員長あいさつ

（3）議 事

①指名審査会監視の結果報告（11～1月分）

②事務局説明（全体の流れ）

③抽出委員による抽出理由の説明

④担当課による抽出案件の説明、質疑等

⑤総括（説明を受けた内容について総合評価）

⑥次回抽出委員の確認

⑦指名競争入札の指名基準の見直し（案）の概要 ※非公開

（4）閉 会

5. 会議資料 別添のとおり

6. 議事概要 別添のとおり

第2回串間市入札等監視委員会 議事概要

○会議冒頭、委員会は原則公開とするが、串間市情報公開条例第11条に規定する不開示情報にあたる等の理由により、委員会が必要と認めた場合には部分的に非公開となる可能性があることなどを説明。またこの不開示情報を除き、会議資料・議事概要を会議終了後に串間市公式サイトにて公表すること、会議が公開のため会議終了後のブリーフィングは行わないことを確認。

○資料1をもとに事務局から11月～1月分の指名審査会監視の結果報告を行った。質疑等はなし。

○事務局から議事の流れについて説明を行った。質疑等はなし。

○資料2をもとに抽出委員による抽出理由の説明を行った。質疑等はなし。

○資料3をもとに担当課より抽出案件に係る説明を行った。各案件に関する主な質疑は以下のとおり。

（抽出案件1）市営あさひが丘住宅B・D棟建築主体（屋外附帯共）工事

委員：予定価格を事前公表していることもあり落札率が高くなっているが、説明をいただけるか。

担当課：建築主体工事については、ほかの公共工事に比べて落札率が高くなる傾向にあり、近年98%前後を推移している状況である。これは予定価格を事前公表していることも影響していると考えられることから、来年度事後公表の試行を行い、落札率への影響等を調べた上で、検討を行っていく予定である。

委員：B棟とD棟を分けて入札することは考えていなかったのか。

担当課：分割発注をしなかった理由としては、すでに昨年度他の2棟が建っており、建て替える土地が狭小であったということと、全体の工事費を抑えるため一括発注としている。

（抽出案件2）串間市消防庁舎新築工事（建築主体及び建築附帯外構工事）

委員：本工事も額の大きな工事となっているが、国や県ではある程度の高額になると一般競争入札をしている。また額に応じて総合評価を導入したりといった工夫を取り入れているところもある。導入には大変な苦労があることと推察するが、可能な限りそういった取り組みを進めていただければと思う。

担当課：今回は工事の内容等から、1社単独で施工可能という判断をしたところであるが、今後は一般競争入札またはJV方式での入札条件等の要綱等を定めるなどの取り組みを進め、課題の改善を図っていきたい。

委員：工期は単年度工事か。

担当課：国から無理な工期設定をしないようにという通達もあることから、工期を十分余裕を持たせた形で工期設定を行っている。今回については令和6年の9月から

令和 8 年 3 月までの工期となっている。

(抽出案件 3) 令和 6 年度防災・安全交付金事業 立宇津黒井峠線法面調査設計業務委託 (2 工区)

委 員：落札率が 77.7%と低くなっており、また予定価格と落札額の開きが 1,000 万円近くあるが、予定価格の算出に問題はなかったか。

担当課：公共発注の同種調査設計業務の実績のある県内事業者を選定したところであり、信頼性については担保できているものと認識している。また予定価格の算出については、国が示す設計方法や公共単価等を用いていることから、問題はないと考えている。

委 員：全国大手設計コンサルタントの宮崎営業所が落札しているが、そういったところでないと調査設計業務が困難なものであったのか、また串間市内の業者も指名されているのか。

担当課：当該調査設計業務委託については、近隣市町村や県の実施した同種案件の入札の指名組を参考にした。串間市内では測量、計画、土地調査が主なコンサルタント業者となっており、この法面調査設計業務委託等の設計コンサルができる業者が市内にないことから、市外の業者を選定したところである。

(抽出案件 4) 串間市立福島小学校 耐力度測定調査業務委託

委 員：応札業者 5 社のうち 1 社が失格となっている理由は。

担当課：串間市の入札においては 1 円端数未満については四捨五入するということであるが、入札額が 1 円切り上げとなっていたので失格となっている。切り上げ切り捨ての取り扱いについては市として公表をしておらず、基準を示せていないところから、令和 7 年度中に市のホームページ等で公表し今回のような失格等がなくなるよう努めていく。

委 員：耐力度調査の結果、補修すればまだ持つものなのか、それとも建て替えが必要という判断が出たのか。

担当課：1 棟については基準を上回ったが、その他の棟については基準を下回っていたことから、今後は校舎のみ全体的に建て替えるという方向で計画をやり直す予定となっている。

(抽出案件 5) 令和 6 年度耕地災害復旧事業 上代田水路測量設計業務委託外 1 件

委 員：随意契約となった理由は。

担当課：本水路の被災が 7 月 10 日から 13 日の梅雨前線豪雨により被災しており、現地調査の結果、国の災害申請の要件を満たしていたことから、早急に測量、設計業務を発注し、災害査定に間に合わせるため地方自治法施行令第 167 条の 2 第 1 項第 5 号の規定により随意契約を行った。

委 員：業者の選定はランクとか基準があるんでしょうか？

担当課：串間市において設計関係のコンサルタントについてはランクがないことか

ら、市内のコンサルタント業者すべてを選定している。

○総括について、市長への具申が求められる意見はなかった。

○次回抽出委員について確認を行った。

○指名競争入札の指名基準の見直し（案）の概要について、まだ確定前の内容であることや、今後の入札の執行に影響がある可能性があることなどから、この議事に関しては非公開とすることを委員会で決定した。

○次回の監視委員会は、令和7年7月開催予定（未定）。